



中り
川よ
荒だ

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

目指す学校像：「あいさつ がまん あとしまつ」ができる生徒

村上市立荒川中学校

令和5年度第6号

令和5年9月15日発行

体育祭へのご協力に感謝いたします

校長

渡辺 安治

二学期に入っても日中は暑さが厳しい毎日です。朝夕涼しいときもあり、過ごしやすい天候が続くことを願っています。また、猛暑や雨不足による稲や他の作物への影響も心配されます。

九月九日、厳しい暑さでしたが心地よい風の中、体育祭が実施されました。熱中症対策を十分取り、生徒に疲労が蓄積されないように準備を進め、当日を迎えました。競技で走りきった後の表情、連合同士勝敗を決した後の満足した様子、お互いを認め合う姿から、体育祭のねらいである「真剣勝負」、「互いに認め合うこと」が十分達成されたと感じました。地域の方々や保護者の皆さんからの声援を受け、一段と一生懸命に躍動する姿もありました。応援合戦は両連合とも、今までで最高のパフォーマンスでした。各連合のパネルは甲乙付けがたく、どちらも短い準備期間に、協力して仕上げた力作です。最後の最後まで様々な技法を試し、より素晴らしい作品になりました。閉会式で各連合長から体育祭をやりきった充実感や相手をたたえる感謝の言葉がありました。私たちの体育祭は競技が終われば、勝った側も負けた側もなく皆一緒の仲間であるという気持ちで、楽しく競い合うことが伝統となっています。生徒は体育祭を通して一段と成長したようでした。

八月二十七日、村上市防災訓練が当校の駐車場、校舎を会場に実施され、学校周辺の地区から住民の方々に参加されました。救急車、消防はしご車、自衛隊車両、給水車等が配置されました。巨大なドームテントの中では炊き出しが実演され、訓練も大がかりでした。また、いつ自然災害が起こるか予測できません。日頃から災害への備えが大事なことを、参加した地域の方々の真剣な姿から改めて感じました。豪雨災害から一年が経過し、先月は「あらかわ大祭」、今月に入って「あらかわエキマエマルシェ」が開催され、多くの方が楽しんでいました。また、荒川の地域を離れている方が知人との再会を喜ぶ姿もありました。来月は「荒川商工業祭」も荒川総合体育館で開催されるそうです。生徒も地域で開催されるイベントが大好きで、今から楽しみにしています。

体育祭を安全に実施するために保護者の皆様へ、「睡眠」や「朝ごはん」「飲み物」など、お願いのメールをお送りしました。お陰で大きな事故なく、楽しい体育祭を生徒の手で作ることができました。ありがとうございます。暑い夏から秋へと季節が移りつつあります。まだ、暑さが残っていますが、生徒は授業、生徒会活動、部活動など学校生活で頑張っています。今後ともどうか、当校の教育活動へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。